opusdei.org

8. イエスはどこでど のようにして生まれ たのですか?

ごく初期から、教会の聖伝はイエス誕生の超自然性を伝えて来た。

2016/09/28

福音記者のうちマタイとルカが、イエスがベツレヘムで生まれたと書いている(「イエスが生まれたのはベツレヘムですか、それともナザレですか?」を参照)。マタイは場所を特定しなかったが、ルカは、子ども

を産んだ後マリアは「布にくるんで 飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼ら の泊まる場所がなかったからであ る。| (ルカ2.7) と述べた。「飼い 葉桶」という言葉はイエスが生まれ た場所に家畜がいたことを示す。ル カはまた、飼い葉桶に寝かされてい る乳飲み子が羊飼いたちにとって、 生まれた救い主の印であるとのべて いる。「泊まる場所」を表すために 使われたギリシャ語はkatálymaであ る。それは応接室として使うことも できる広い部屋を表す単語である。 新約聖書ではこのほかに、イエスが 弟子たちと最後の晩餐を祝うために 使った高間を表すために2回使われ ている(ルカ22.11、マルコ 14.14) 。おそらく、福音記者はこの 言葉によって、出来事の秘密を守れ ないような場所であったということ を示したかったのだろう。ユスティ ノ(『トリフォンとの対話』 78) は 洞窟で生まれたと言い、オリゲネス (『ケルソス駁論』I,51) や偽福音

書も同様に言っている(『偽ヤコブ』20、『幼年時代のアラブ語の福音』 2、『偽マタイ』13)。

ごく初期から、教会の聖伝はイエス 誕生の超自然性を伝えて来た。アン ティオキアの聖イグナチオは西暦 100年頃、「この世の王子(悪魔) にはマリアの処女性も、その出産 も、主の御死去も隠された。3つの 驚くべき神秘は神の沈黙のうちにな された」(『エフェソの信徒への手 紙』 19.1) 。2世紀の終わり頃、聖 イレネオは、マリアの出産は無痛で あった(『使徒たちの使信の説明』 54) と述べ、アレクサンドリアのク レメンスは2つの偽福音書に則っ て、イエスの誕生は処女性を保った と述べた(『ストロマテイス』 7.16)。4世紀の聖グレゴリオ・タウ マトゥルゴの作とされる文書の中に ははっきりと述べている。「キリス トが生まれる時、無原罪の胎と処女 性は保たれた。それは、前代未聞の

この出産が私たちにとって偉大な神秘の印となるためであった」(J.B. Sitra, "Analecta Sacra", IV, 391)。最も古い偽福音書は、突拍子さはあるものの、上記の証言と一致した伝統を残している。『ソロモンの頌歌』 19、『イザヤの昇天』 13、『ヤコブの偽福音書』 20-21、においては、イエスの誕生は奇跡的な様相を帯びている。

これらすべての証言は、教会によって承認されてきた信仰のある伝統を反映しているが、それは、マリア女出産前も、出産中も出産後も処女であるにつれるの信仰を深めの信仰を深めれているがであるの信仰を深めれているのであるのであるのであるのであるのでは、「かかななななななななななない。事実、を発生した(同427参照)。事実、外の誕生は、「母の完全な処女性を保たれたと公言するにもりました(同427参照)。事実、サリストの誕生は、「母の完全な処女に

を傷つけることなくかえって聖化しました(『教会憲章』57)。教会の典礼は、マリアを「終生の処女」 (Aeiparthenos)としてたたえます(『教会憲章』52)。」(カトリック教会のカテキズム499)

参考書: カトリック教会のカテキズム; J. GONZÁLEZ ECHEGARAY, Arqueología y evangelios, Verbo Divino, Estella 1994; S. MUÑOZ IGLESIAS, Los evangelios de la infancia, BAC, Madrid, 1990; F. VARO, Rabí Jesús de Nazaret, BAC, Madrid 2005

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-8/ (2025/11/21)